

「第17回京都現代写真作家展 京都写真ビエンナーレ2019」の開催について

令和元年 11月 27日
京都府文化スポーツ部文化芸術課
(075-414-4231)

京都府では、写真芸術の振興を図るため、12月11日(水)から、「第17回京都現代写真作家展 京都写真ビエンナーレ2019」を開催します。京都で活動する幅広い年代の応募者の作品から入選した159作品を展示するほか、次世代育成のために新鋭賞を設け、高校生の優秀作品を展示しますので、広く周知をお願いします。

- 会 期** 令和元年12月11日(水)～12月15日(日) <5日間>
10時～18時(最終日は16時30分閉場)
プレス内覧会 12月10日(火) 16時～18時(会場内・申し込み不要)
※取材ご希望の場合は京都府京都文化博物館5階までお越し下さい。
- 会 場** 京都府京都文化博物館5階(京都市中京区東片町623-1) ※入場無料
- 出品内容** 約210点 公募入選者の作品 159点
高校生の選抜作品 約40点
顧問・実行委員等の賛助出品 約10点
- 賞** 大賞 1点(副賞金30万円)、準大賞 1点(副賞金10万円)
優秀賞 5点以内(副賞金5万円)、新鋭賞 3点以内(副賞金3万円)
※12月9日(月)の審査で決定。

【審査員(12名)】

- <実行委員> 梶川由紀(何必館・京都現代美術館学芸員)、亀村俊二(写真家)、神崎順一(写真家)、
北奥耕一郎(写真家)、佐藤敬二(デザイン評論家)、
佐藤博一(写真家、グラフィックデザイナー)、竹内真理子(写真批評家)、森岡誠(写真家)
<顧問> 木村晃造(写真家)、木村尚達(写真家)、小林賢司(写真家)
<ゲスト審査員> 植田憲司(京都府京都文化博物館学芸員)

5 今回展の特徴

- ・京都府内最大の公募写真展で過去最高の270人(692作品 1人3作品以内)が応募。
- ・若手育成のため35歳以下を対象に新鋭賞を設けている。
- ・多様な視点から審査をするため、写真批評家とキュレーターを審査員に起用。
- ・今回初めて、期間中毎日ギャラリートーク等を実施。
- ・第14回京都現代写真作家展ゲスト審査員賞受賞後、国際的に活躍する写真家吉田亮人氏と実行委員の梶川由紀氏による対談(12月14日10:30～12:00、3階フィルムシアター)を実施。(定員170名・先着順・当日10時より入場整理券配布)

- 主 催** 京都府・京都現代写真作家展実行委員会

- 後 援** 京都新聞、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、日本経済新聞社京都支社、京都リビング新聞社、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都、PHOTO PARTNER KYOTO(京都府写真材料商業組合)、(公財)京都文化交流コンベンションビューロー

- 協 力** 文化庁 地域文化創生本部

